

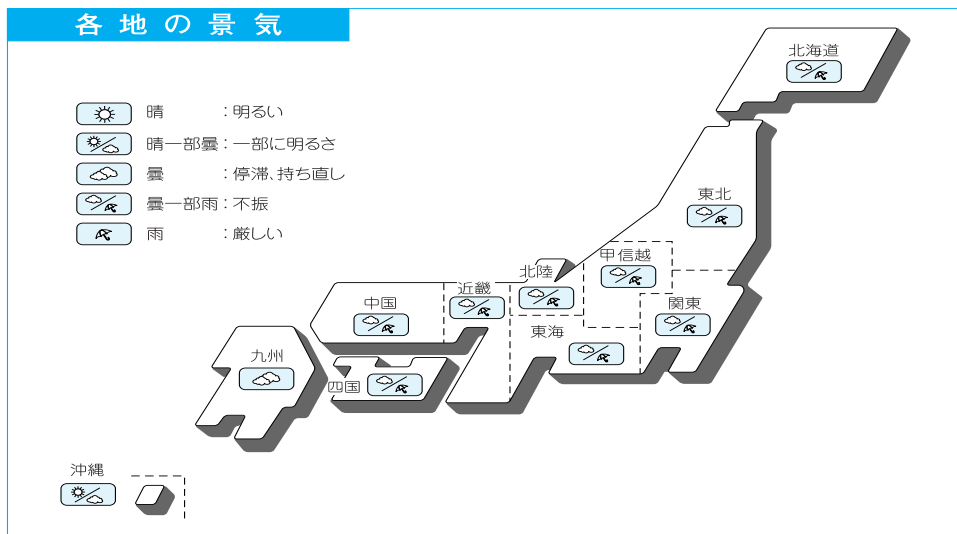
全国地方銀行協会

地方経済天気図

(平成25年4月発表分) から

景気は緩やかな持ち直し

1. 各地の景況感



- ☔️ • 北海道…輸出は、米国向けの自動車部品、中国、台湾向けの鉄鋼が増加。観光は、円安の影響から、台湾、韓国、豪州からの外国人客が増加。
- ☔️ • 東北…住宅建築は、被災地での建替え需要から、持家、貸家、分譲住宅ともに増加し、持ち直し。
- ☔️ • 関東、東海…個人消費は、百貨店販売で高額商品が増加。生産は、鉄鋼、輸送機械が増加するなど、下げ止まり。
- ☔️ • 甲信越、近畿、中国…生産は、電子部品、輸送機械が増加。
- ☔️ • 北陸、四国…景況感は緩やかに持ち直し、一部には投資計画を積み増す動きもみられる。
- ☁️ • 九州…輸出は、一般機械、中国向けの自動車が増加。
- ☔️ • 沖縄…観光は、国内線LCC（格安航空会社）の就航やプロ野球のキャンプ効果から国内客が増加したほか、台湾、韓国からの外国人客が増加。

2. 近県「現在の景気」

「宮城県」

全体として景気は、震災復旧事業の増勢などに伴い経済活動は総じて高水準で推移しているが、一部に弱めの動きがみられるなど、回復のテンポは鈍化してきている。

「山形県」

一部に弱い動きがみられるものの、下げ止まりの兆し。

「新潟県」

下げ止まり。

「栃木県」

弱い動きながら、一部に持ち直しの動き。

「茨城県」

弱めの動き。

3. トピックス（東北・近県）

「青森県」

県内の大型店で今春、改装の動きが相次ぐ。店舗の魅力を高めることで、新たな客層や商圈の開拓を目指すほか、消費税増税や北海道新幹線函館開業を視野に入れているところもみられる。今後、安倍政権の経済政策「アベノミクス」が本格化していくこともあり、県内各店とも改装効果がより高まることが期待される。

「岩手県」

岩手経済研究所の「いわて景気ウォッチャー調査」（1月実施、回答数90）によると3か月前と比較した県内景気の現状に対する判断指数は前回（10月）比3.5ポイント上昇し46.4。景況感の分かれ目とされる50を2期（6か月）連続で下回った。2～3か月先の景気の先行きに対する判断指数は前回比11.8ポイント上昇し56.1。昨年7月以来2期（6か月）ぶりに50を上回る。先行きの大幅な改善は、円安や株高に加え新政権への期待の大きさが表れている。

「秋田県」

3月16日、秋田新幹線は新型車両E6系「スーパーこまち」の営業運転を開始。JR秋田駅で出発式が開かれ、JR東日本関係者らが新型車両のデビューを祝った後、乗客約300人を乗せた上り一番列車が出発。「スーパーこまち」は最高時速300kmで秋田－東京間を1日4往復し、所要時間は現行より5分短い、最短3時間45分。

「宮城県」

復興庁は、復興交付金の第5次配分額を発表した。

県内20市町への交付額は1,307億円（交付率113.6%）となり、気仙沼市の水産加工団地の造成、山元町の避難所や交流センターなどの整備が対象となったほか、集団移転に伴う被災跡地の活用も認められ、岩沼市が進める防災公園整備なども対象となった。市町村別にみると、石巻市が445億円（同252.2%）と最も多く、次いで気仙沼市267億円（同72.1%）、山元町111億円（同103.7%）などとなっている。

「山形県」

フィデア総研の第27回「山形県内家計の消費動向調査」（3月調査分）によると、消費指数は前期比9.9ポイント上昇し△82.0と3期ぶりに回復。今後の見通しは、消費指数が今回調査比2.0ポイント下落し△84.0と悪化の見通し。最近の円安・株高傾向を反映し、総じて消費マインドに良い方向への変化がみられるものの、物価上昇への警戒感から一本調子で回復していくかどうか、不確かな状況。

「新潟県」

農林水産省は、六次産業化法に基づく総合化事業計画で、県内から3件を認定。認定されたのは、(株)サンファーム泉（五泉市、果樹栽培・果物加工品製造販売）、(株)環境保全事業（佐渡市、食肉製造・食肉加工品製造販売）、農業・宮崎朗氏（津南町、ダイズ栽培・大豆関連加工品製造販売）。県内における計画の認定は累計で17件。認定業者は、設備投資面での優遇や専門家による経営支援を受けられる。

（出所：全国地方銀行協会地方経済天気図4月分より抜粋）

（担当：斎藤）